

別紙

I. 事業評価総括表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	佐田町川北農道横断溝設置 工事	出雲市	3,249,400	3,249,400	総事業費 3,259,300

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ. 事業評価個表（令和４年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	佐田町川北農道横断溝設置工事
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		出雲市
交付金事業実施場所	出雲市佐田町地内	
交付金事業の概要	出雲市佐田町八幡原地内に位置する川北農道は、1級河川神戸川に近接する川北地区の農業促進及び生活関連道として平成7年度から平成9年度において団体営ふるさと農道整備事業により整備された農道です。農道の起点側には、出雲市立佐田中学校があり、本農道を通学路として利用しています。また、農業集落排水処理施設及び病院施設がこの農道沿線にあり、川北地区のみでなく、その周辺地域住民も利用する重要な道路です。 本農道において、昨今の集中豪雨に伴う大雨により路面に滞水する水の排除が困難となり、通行の支障となっています。この対策については、地元からの要望がある横断溝の設置を行うことにより、交通の安全確保及び利便性向上を図ります。 具体的には、以下のとおりとします。 令和４年度 横断溝設置工 L=16.0m	

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	出雲市総合計画「出雲未来図」（平成24年度～平成33年度）後期基本計画（平成29年度～平成33年度） 第3章 産業・観光都市の創造 2 農林水産業の振興と発展 （4）農業基盤整備事業 ④農道整備事業 農業の振興、農村地域の環境改善等を図るため、集落を結ぶ基幹道路として県営事業を活用し農道整備を行います。					
事業開始年度	令和4年度		事業終了（予定）年度		令和4年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度	令和4年度
	対策が必要な範囲における対策済箇所の割合（％）	対策済み延長（m）／対策が必要な延長（m）×100（％）	成果実績	％	100	
			目標値	％	100	
			達成度	％	100	
	評価年度の設定理由					
	当該事業が完了するのが、令和4年度であるため。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	年度	年度
	佐田町川北農道横断溝設置工事進捗量	活動実績	m	16.0		
		活動見込	m	18.3		
		達成度	％	87.4		

交付金事業の総事業費等	令和4年度	年度	年度	備 考
総事業費	3,259,300			
交付金充当額	3,249,400			
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	3,249,400			
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
道路排水対策	指名競争入札	株式会社井口組（出雲市）	3,259,300	
計			3,259,300	
交付金事業の担当課室	出雲市農林水産部農林基盤課			
交付金事業の評価課室	出雲市農林水産部農林基盤課			

別紙

I．事業評価総括表（令和４年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	乙立町地内農道舗装改修工 事	出雲市	1,197,600	1,197,600	総事業費 1,215,500

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和４年度）

番号	措置名	交付金事業の名称												
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	乙立町地内農道舗装改修工事												
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		出雲市												
交付金事業実施場所	出雲市乙立町													
交付金事業の概要	本農道は、一級河川斐伊川水系神戸川の南側にある幅員2.5m、延長136mの農道です。平成6年度から平成7年度にかけて、乙立地区農用地有効利用モデル集落整備小規模基盤整備事業により整備された農道であり、市道乙立８号線と市道乙立10号線を結び国道184号と立体交差しており、交通量のある国道184号を渡ることなく、集落間を結ぶことができます。 現在、この農道は未舗装であり、雨季には道がぬかるみ、部分的に車両の通行や人の歩行が困難になります。また、周辺集落の高齢化により、転倒する恐れが高まっている状況です。このため、地元からの要望がある舗装改修を行うことにより、地域住民の交通の安全確保及び利便性向上を図ります。 令和３年度から令和４年度において舗装改修を行い、令和４年度は工事延長L=55.6mの舗装改修工を実施します。 《全体計画》 <table><tr><th>施工年度</th><th>工事内容</th><th>延長</th></tr><tr><td>R3</td><td>舗装改修工</td><td>L=80.0m</td></tr><tr><td>R4（本年度）</td><td>舗装改修工</td><td>L=55.6m</td></tr><tr><td></td><td></td><td>L=135.6m</td></tr></table>		施工年度	工事内容	延長	R3	舗装改修工	L=80.0m	R4（本年度）	舗装改修工	L=55.6m			L=135.6m
施工年度	工事内容	延長												
R3	舗装改修工	L=80.0m												
R4（本年度）	舗装改修工	L=55.6m												
		L=135.6m												

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	出雲市総合計画「出雲未来図」（平成24年度～平成33年度）後期基本計画（平成29年度～平成33年度） 第3章 産業・観光都市の創造 2 農林水産業の振興と発展 （4）農業基盤整備事業 ④農道整備事業 農業の振興、農村地域の環境改善等を図るため、集落を結ぶ基幹道路として県営事業を活用し農道整備を行います。					
事業開始年度	令和3年度		事業終了（予定）年度		令和4年度	
事業期間の設定理由	乙立町地内農道における舗装対策が必要な箇所（L=135.6m）の完了期間					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度	
	対策が必要な範囲における対策済延長の割合（％） 100％	対策済み延長（m）／対策が必要な全延長（m）×100（％）	成果実績	％	100.0	
			目標値	％	100.0	
			達成度	％	100.0	
	評価年度の設定理由					
	当該事業が完了するのが、令和4年度であるため。					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度	令和4年度 令和 年度
	乙立町地内農道舗装改修工事進捗量		活動実績	m	80.0	55.6
			活動見込	m	80.0	55.6
			達成度	％	100.0	100.0

交付金事業の総事業費等		令和 3 年度	令和 4 年度	令和 年度	備 考
総事業費		1, 592, 800	1, 215, 500		R 3 ～ R 4 年度総事業費 2, 808, 300円
交付金充当額		1, 445, 700	1, 197, 600		
うち文部科学省分					
うち経済産業省分		1, 445, 700	1, 197, 600		
交付金事業の契約の概要					
契約の目的		契約の方法	契約の相手方		契約金額
舗装改修工事		指名競争入札	有限会社安喰工業（出雲市）		1, 215, 500
		計			1, 215, 500
交付金事業の担当課室		出雲市農林水産部農林基盤課			
交付金事業の評価課室		出雲市農林水産部農林基盤課			

別紙

I. 事業評価総括表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	市道横田住宅団地1号線道 路改良事業	益田市	5,471,000	5,471,000	総事業費 5,788,200

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表(令和4年度)

番号	措置名	交付金事業の名称						
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	市道横田住宅団地1号線道路改良事業						
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		益田市						
交付金事業実施場所	益田市横田町							
交付金事業の概要	本事業は市道横田住宅団地1号線のうち、起点側の120mの区間の道路改良を行う事業です。本年度は一部区間の道路改良工事を行います。 益田市の管理する市道横田住宅団地1号線は、総延長320m、道路幅員2.8～4.3mの歩道の無い車道のための幅員狭小道路です。「横田住宅団地」と呼ばれる40棟近くの家屋が密集する団地内の基幹道路です。このうち特に、市道の起点側120mの区間は団地内への出入りのための唯一のルートとなっています。一方で、起点側120mの区間は幅員が4mに満たず最小幅員3.6mと狭小で、車両同士の円滑な離合が困難な状況となっており、接触事故等、兼ねてから安全性に懸念があります。 一般的には道路を拡幅改良することで離合の困難は解消されますが、起点部に防火用貯水池があるうえ、拡幅工事を行った場合、工事期間中の迂回ルートが無く、団地内への車両の進入が困難となる等の課題がありました。 このほど、当該市道沿線の市営住宅が老朽化のため他地区へ移転となり、また、市営住宅と市道用地との間の民有地の買収も令和元年度に行ったことから、当該区間の改良については、現道を維持しながら並行するバイパス的な道路改良整備が可能となりました。このため、本交付金を活用することにより、当該区間について、幅員5.0mのバイパス的な道路を改良整備し、団地内を出入りする車両同士の安全な離合を可能とし、日常生活の利便性向上を図ろうとするものであります。 平成30年度より本交付金事業を財源の一部として活用して、道路整備のための調査設計として、当該整備予定区間120mの測量を行い、ルート決定、並びに道路設計のための平面図作成、路線測量(中心線測量、縦断測量、横断測量等)を行い、(ルート決定、路線測量、道路設計については市単独事業で実施)用地測量を行い用地取得を行いました。 令和2年度より道路改良工事に着手しており、今年度も引き続いて事業を行うものです。 (令和4年度の実施内容) <table border="0"> <tr> <td>・施工延長 L=60m</td> <td>・法面工</td> <td>植生工 A=10㎡</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・排水構造物工</td> <td>側溝工 L=53m、集水樹工 N=1箇所</td> </tr> </table>		・施工延長 L=60m	・法面工	植生工 A=10㎡		・排水構造物工	側溝工 L=53m、集水樹工 N=1箇所
・施工延長 L=60m	・法面工	植生工 A=10㎡						
	・排水構造物工	側溝工 L=53m、集水樹工 N=1箇所						

交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第6次益田市総合振興計画後期基本計画(令和3年度(2021年)3月) 基本目標Ⅳ:ひと・もの・情報をつなぐネットワークが整備されたまち 基本施策1:市内外のアクセスを確保する道路網整備 ⑤:市道(街路)・農道・林道の整備 地域の生活道路は、既存の道路の維持・管理に努めるとともに、必要に応じ新設・改良を進め、日常生活の利便性の向上を図ります。 目標指標:市道改良延長 現状値(令和元年度):511km 目標値(令和7年度):514km						
事業開始年度	平成30年度		事業終了(予定)年度		令和6年度		
事業期間の設定理由	平成30年度に測量、設計、令和元年度に、用地測量、用地取得、令和2年度に工事着手を行い、令和6年度の供用開始を見込むため。						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和6年度		
	市道のうち幅員が狭く離合が困難な箇所の解消。	整備が完了した区間÷整備予定区間	成果実績	%			
			目標値	%	100		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	市道横田住宅団地1号線道路改良工事が完了し供用が開始されるのが令和6年度であるため。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	側溝の整備延長		活動実績	m	25	28	53
			活動見込	m	25	28	53
			達成度	%	100.0	100.0	100.0

交付金事業の総事業費等	令和2年度	令和3年度	令和4年度	備考
総事業費	7,173,100	5,582,500	5,788,200	総事業費23,000,000円(予定)
交付金充当額	6,342,000	5,442,000	5,471,000	
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	6,342,000	5,442,000	5,471,000	
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	工事実施	指名競争入札	(有)石西建設(益田市)	5,788,200
	計			5,788,200
交付金事業の担当課室	益田市建設部土木課			
交付金事業の評価課室	益田市建設部土木課			

別紙

I. 事業評価総括表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	布部飯田水路測量設計業務	安来市	4,345,000	4,345,000	総事業費 4,345,000

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ. 事業評価個表（令和４年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	布部飯田水路測量設計業務
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		安来市
交付金事業実施場所	安来市広瀬町布部	
交付金事業の概要	市の中央部に位置する広瀬町布部地区は中山間地で水稻を中心とする農耕地です。 飯田水路は布部地内飯梨川右岸を南北に縦断し、受益面積7.4ha、11戸の水田を賄う基幹水路として機能しています。 しかし、水路の老朽化により常態的に漏水している個所があり、増水時には越水が発生している状況にあります。4月頃から水田に多くの水が必要なときにU字溝が細いため十分な水の確保ができず、幅員の差が生じている個所においては、増水時に越水し、付近の田畑が水浸しになる状況にあります。 このため、令和5年度に予定している対策工事のための測量設計を行います。 測量設計延長 L=112.59m/	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	【交付金事業に関係する主要政策・施策】 第2次安来市総合計画（平成28年～令和7年） 基本理念 活力・快適・らしさ・つながり・安心 基本政策 みんなで支えあうまちづくり／第4章 産業・観光・雇用／第1節 農林水産業の振興／ 方向 営農の組織化・農地の利用集積と担い手の育成・確保を推進する	

事業開始年度	令和４年度		事業終了（予定）年度		令和５年度
事業期間の設定理由	令和４年度に測量設計を行い、令和５年度に工事を行うため。／				
交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和５年度
	飯田水路における改修工事により安全に管理できるようになった水路延長の割合（100％）。	改修工事が完了した区間／改修予定区間	成果実績	%	
			目標値	%	100
			達成度	%	
	評価年度の設定理由				
	事業完了後、速やかに評価を実施するため。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	—				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和４年度	年度	年度
	飯田水路の測量設計延長		活動実績	m	112.59		
			活動見込	m	110		
			達成度	%	102.35		
交付金事業の総事業費等	令和４年度	年度		年度	備考		
総事業費	、4,345,000						
交付金充当額	、4,345,000						
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	、4,345,000						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
測量設計業務		一般競争入札		(株)大建コンサルタント安来営業所（安来市）		4,345,000	
		計				4,345,000	
交付金事業の担当課室	安来市 政策推進部 広瀬地域センター						
交付金事業の評価課室	安来市 政策推進部 広瀬地域センター						

別紙

I．事業評価総括表（令和４年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	中学校運営事業	江津市	4,545,000	4,545,000	総事業費 8,823,657

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和４年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	中学校運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		江津市
交付金事業実施場所	・江津中学校（江津市江津町） ・江東中学校（江津市後地町） ・青陵中学校（江津市二宮町神主） ・桜江中学校（江津市桜江町川戸）	
交付金事業の概要	江津市教育大綱において、江津市は目指す姿として「夢と志をもち、未来を切り拓こうとする人」と定めており、その教育方針で「教育活動の質の向上」と定めています。 GIGAスクール構想に必要な機器整備や、教員の負担を軽減するための人の配置など、学校環境を維持運営するための経費は増加傾向となっています。また、江津市では、近年の夏の猛暑のため各学校の教室にエアコンの整備を行いました。また、快適な学習環境を維持するための費用が増加しています。本交付金を中学校の電気代へ充当することによって、継続的に快適な学習環境を構築し、公共用の施設の維持運営を図ります。 市内中学校4校の電気代、6か月分	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第6次江津市総合振興計画（令和2年度（2020年度）～令和11年度（2029年度）） 基本方針5 豊かな心を育む芸術・文化・教育・スポーツのまちづくり 施策2 豊かな創造性を育む人づくり （2）学校教育の充実 具体的な取り組み ③ 信頼される学校づくりの推進 ●学習の基盤となる学習環境の整備	

事業開始年度	令和４年度			事業終了（予定）年度		令和４年度	
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和４年度		
	事業実施期間 における中学校 開校日のうち、快適な学 習環境を提供 できた日数の 割合（100％）	快適な学習環 境を提供でき た日数／開校 日数	成果実績	%	100.0		
			目標値	%	100.0		
			達成度	%	100.0		
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度に評価を実施します。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	交付金を、市内中学校の電気代に充当することにより、夏季、冬季においてエアコンを活用することができました。このことにより、中学校に通う学生に快適な学習環境を提供することが可能となり、また、中学校施設の維持運営に資することができました。						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和３年度	令和４年度	年度
	事業実施期間における中学校 開校日のうち、快適な学習環 境を提供できた日数		活動実績	日	95	91	
			活動見込	日	95	91	
			達成度	%	100.0	100.0	

交付金事業の総事業費等	令和 3 年度	令和 4 年度	年度	備 考
総事業費	6, 216, 110	8, 823, 657		
交付金充当額	4, 448, 000	4, 545, 000		
うち文部科学省分	0	0		
うち経済産業省分	4, 448, 000	4, 545, 000		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
中学校にかかる電気の使用	随意契約（特命）	中国電力（株）（広島市）	8, 823, 657	
計			8, 823, 657	
交付金事業の担当課室	江津市学校教育課			
交付金事業の評価課室	江津市学校教育課			

別紙

I．事業評価総括表（令和４年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金 （引野自治会有害鳥獣侵入 防止柵設置工事）事業	雲南市	1,980,000	1,980,000	総事業費 1,980,000

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和４年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	地域活性化措置	自治会施設等整備補助金（引野自治会有害鳥獣侵入防止柵設置工事）事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所	雲南市木次町西日登	
交付金事業の概要	引野自治会は、雲南市の中山間部に位置する地域であり、総人口52名（21世帯）・高齢化率46.15%（令和4年3月31日現在）となっており、高齢化が進んでいる状況です。 周囲を山に囲まれている当自治会は、有害鳥獣（特にイノシシ）による被害が多発しており、主なものとして、農作物への被害や畦畔、農地等に対する掘り返しが挙げられます。また、家屋裏の法面や木戸道に対する掘り返しも多発しており、掘り返した場所に近年多発している集中豪雨が続くと、地盤が更にゆるみ、法面崩落の危険性も高まります。 これまでは当自治会員が個々で対策を行っていましたが、高齢化が進む中で、個々で鳥獣侵入防止対策を行うことは厳しい状況になってきており、十分な鳥獣対策を行うことができない中で生活していくことに住民は非常に不安を抱えています。 今回、自治会内への有害鳥獣の侵入を防ぐことを目的とし、自治会全体で有害鳥獣侵入防止柵を設置します。 具体的な事業内容は次のとおりです。 ・鳥獣侵入防止柵設置工事 L=256.4m	

交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】 Ⅴ 挑戦し活力を産みだすまち 施策34 農業の振興 安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。 施策の目標：市内の農業所得総額（法人除く） 現状 △6.3億円（令和2年度実績） 目標 △4.6億円（令和4年度）				
事業開始年度	令和4年度		事業終了（予定）年度		令和4年度
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度
	引野地区における有害鳥獣対策により対策が完了した区間の割合（100%）	対策が完了した区間／対策を講ずるべき区間	成果実績	%	100
			目標値	%	100
			達成度	%	100
	評価年度の設定理由				
	事業実施後、早期に評価を実施するため				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和４年度		
	引野自治会有害鳥獣侵入防止柵設置工事		活動実績	m	256.４		
			活動見込	m	254.0		
			達成度	%	100.9		
交付金事業の総事業費等	令和４年度					備 考	
総事業費	1,980,000						
交付金充当額	1,980,000						
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	1,980,000						
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
補助金交付		補助		引野自治会（雲南市）		1,980,000	
		計				1,980,000	
交付金事業の担当課室		雲南市木次総合センター自治振興課					
交付金事業の評価課室		雲南市木次総合センター自治振興課					

別紙

I．事業評価総括表（令和４年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	波多交流センター防災備品 整備事業	雲南市	1,977,800	1,977,800	総事業費 1,977,800

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和４年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	波多交流センター防災備品整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市
交付金事業実施場所	雲南市掛合町波多	
交付金事業の概要	事業実施する「波多交流センター」は掛合町波多地区における地域活動の拠点施設であり、市の指定避難所にも指定し、防災拠点施設としての一面も有しています。しかしながら、当該施設は旧波多小学校を転用した施設であるため、広いスペースを確保できる部屋が無く、また、机や椅子などについても学校備品をそのまま活用している現状で、地域全体の会議を行うのに苦慮している状況です。 そのような中、令和3年の豪雨災害を経験したことにより既存の地区防災計画の見直しを行う機運が高まっています。現状で確保できるスペースを有効に活用しつつ以下1～6の備品を整備することにより、計画見直しのための会議や防災訓練・研修などを円滑に実施できるものと考えています。 また、波多地区は市中心部から最も離れた場所に位置しており災害時の連絡手段の確保は必須であることから、停電時でも携帯電話等に充電ができるよう、ポータブル電源を併せて整備するものです。 この備品整備により、平常時及び発災時における地区内の防災体制の強化を図るものです。 1. 会議用折りたたみ机(配置のレイアウトが自由にできる可動式で、コンパクトに収納できる折り畳み式) 15台 2. 会議用椅子(2種類：持ち運びが容易なもの及び高齢者等に配慮した肘付きのもの) 35脚 3. 会議用椅子収納台車 1台 4. プロジェクター(狭いスペースでの利用を考慮し天井設置する) 1台 5. スクリーン(狭いスペースでの利用を考慮し天井設置する) 1枚 6. 書画カメラ(資料投影用のスキャナー) 1台 7. ポータブル電源 1個	

交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】 政策Ⅱ 安全・安心で快適なまち 施策16 消防・防災対策の推進 防災意識の向上と実践、防災施設の整備 施策目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 現状 31.2%（令和2年度実績） 目標 36.0%（令和4年度）				
事業開始年度	令和4年度		事業終了（予定）年度		令和4年度
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和5年度
	災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 34.0%	市民アンケートにおいて「災害に対する家庭での備え」についての項目に、していると答えた数／市民アンケート回答者数	成果実績	%	
			目標値	%	36.0
			達成度	%	
	評価年度の設定理由				
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和4年度		
	波多交流センターへの 防災備品整備数		活動実績	点	55		
			活動見込	点	55		
			達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等		令和4年度					備 考
総事業費		1,977,800					
交付金充当額		1,977,800					
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		1,977,800					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
波多交流センター 防災備品整備		指名競争入札		土江文具店（雲南市）		1,977,800	
		計				1,977,800	
交付金事業の担当課室		雲南市掛合総合センター自治振興課					
交付金事業の評価課室		雲南市掛合総合センター自治振興課					

別紙

I．事業評価総括表（令和４年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	バス停留所標識柱設置事業	雲南市	1,062,600	1,062,600	総事業費 1,062,600

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和４年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	バス停留所標識柱設置事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市		
交付金事業実施場所	雲南市大東町塩田 外22か所			
交付金事業の概要	雲南市民バスは、現在30路線、161便／1日運行しており、バス停留所が市内全域に約450箇所に設置されています。このバス停留所に設置している標識柱は、バスの乗降場所、時刻及び行き先等を掲示し利用者に示すものであるため、利用する上で必須です。 しかし、中には平成16年以前の旧町村時代に整備したものなどもあり、経年劣化による老朽化で朽ち果てている箇所や倒壊等設置箇所の安全確保が問題となっています。 そこで、市内全域で更新の必要性が高いものの調査を行い、今年度は大東地区のバス停留所標識柱23基について更新することで、利用者の安心安全を確保しつつ、利便性を向上させます。			
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第2次雲南市総合計画（平成27年度～令和6年度）（後期基本計画 令和2年度～令和6年度） 政策：Ⅱ安全・安心で快適なまち《定住環境》 施策：13公共交通ネットワークの充実 ・まちづくりと連携した持続可能な公共交通体系を構築し、公共交通機関の利用促進を図ります。 ・既存の交通網の整備を図るとともに、多様な交通手段の提供により、利用者の利便性を確保します。 施策目標 市内の公共交通サービス機関（バス・ＪＲ・だんだんタクシー・デマンド型乗合バス）に満足している市民の割合 現状 53.2％（令和３年度） 目標 58.0％（令和４年度）			
事業開始年度	令和４年度		事業終了（予定）年度	令和４年度
事業期間の設定理由				

交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和 5 年度		
	市内の公共交通サービス機関（バス・ＪＲ・だんだんタクシー・デマンド型乗合バス）に満足している市民の割合 58.0%	市民アンケートにおいて「市民の公共交通サービスに満足している」項目に満足、多少満足と答えた数／市民アンケート回答者数	成果実績	%			
			目標値	%	58.0		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度の市民アンケート結果を事務事業評価に反映して事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
評価に係る第三者機関等の活用の有無							
無							
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
	市民バス標識柱の更新数		活動実績	基	40	21	23
			活動見込	基	40	21	23
			達成度	%	100	100	100
交付金事業の総事業費等		令和 2 年度	令和 3 年度		令和 4 年度		備 考
総事業費		1, 540, 000	814, 000		1, 062, 600		
交付金充当額		1, 540, 000	814, 000		1, 062, 600		
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		1, 540, 000	814, 000		1, 062, 600		
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
バス停留所の標識の製作及び設置		一般競争入札		有限会社サンユウ工芸（雲南市）		1, 062, 600	
		計				1, 062, 600	
交付金事業の担当課室		雲南市役所 政策企画部 うんなん暮らし推進課					
交付金事業の評価課室		雲南市役所 政策企画部 地域振興課					

別紙

I．事業評価総括表（令和４年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金 （吉田町交流センター（吉田・田井・民谷）防災備品整備）事業	雲南市	1,748,513	1,748,513	総事業費 1,748,513

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和4年度）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（吉田町交流センター（吉田・田井・民谷）防災備品整備）事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市		
交付金事業実施場所		雲南市吉田町吉田ほか2件		
交付金事業の概要		雲南市吉田町内の各交流センターの防災備品は、平成29年度から本交付金を活用し整備することとしております。 地域自主組織の拠点施設であり災害時の指定避難所でもある、雲南市吉田町内の交流センターに地域自主組織所有の防災備品を整備することで、避難所設備の充実及び自主防災活動の強化を図り、地区内で発生した災害に地域と行政が協働で対応する事のできる体制を構築するとともに、災害に対する町内住民の自助・共助の意識の醸成を図ります。 今年度も地震等大規模な災害の発生により避難した地域住民が数日間避難所で生活を送る事態を想定し、交流センター以外の地区内の避難所（体育館等）も含めた避難所運営に必要な備品の整備を進めます。また、昨年7月の豪雨災害時に各地区で避難所を開設した経験から、季節に関わらず迅速な避難者受入れ及び効率的な避難所運営のため、必要な避難所用備品を追加整備します。 このような各地域自主組織でのより主体的な避難所運営、自主防災活動に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより補助金を交付します。 各交流センターに整備する備品の具体的な内容は以下のとおりです。 吉田交流センター（吉田地区振興協議会） ・車椅子 1台 ・ヘルメット 5個 ・折り畳み式ヘルメット 5個 ・畳ロール 3本 ・大型扇風機 3台 ・石油ファンヒーター 2台 合計 19点 田井交流センター（田井地区振興協議会） ・除雪機 1台 合計 1点 民谷交流センター（民谷地区振興協議会） ・ソーラーパネル 1組 ・業務用ストーブ 1台 ・スポットエアコン 1台 ・スポットエアコン延長用冷風ダクト 1本 合計 4点 3施設合計 24点		
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標		令和4年度目標【第2次雲南市総合計画（後期基本計画2015－2024）】 Ⅱ 安全・安心で快適なまち 施策16 消防・防災対策の推進 防災意識の向上と実践、防災施設の整備 各交流センターに防災備品を整備することで、避難所機能の充実を図るとともに、この防災備品を地域自主組織が管理し、避難訓練等の活動に取り組むことで、自主防災活動を強化し、地域住民の防災意識の醸成を図る。 施策の目標：災害に対する家庭内での備えをしている市民の割合 現状 31.2％（現状値：令和2年度） 目標 36.0％（令和4年度）		

事業開始年度	令和4年度		事業終了（予定）年度			令和4年度		
事業期間の設定理由								
交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度			令和5年度
	災害に対する 家庭内での備え をしている 市民の割合 36.0%	市民アンケート において 「災害に対する 家庭内での 備え」につい ての項目に、 していると答 えた数／市民 アンケート回 答者数	成果実績	%	36			
			目標値	%				
			達成度	%				
	評価年度の設定理由							
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。							
	交付金事業の定性的な成果及び評価等							
	評価に係る第三者機関等の活用の有無							
	無							
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和2年度		令和3年度	令和4年度
	吉田町地域自主組織への防災 備品整備数		活動実績	点	146		209	233
			活動見込	点	146		209	233
			達成度	%	100		100	100
交付金事業の総事業費等	令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考	
総事業費	2,977,590		1,947,000		1,748,513			
交付金充当額	2,977,590		1,947,000		1,748,513			
うち文部科学省分								
うち経済産業省分	2,977,590		1,947,000		1,748,513			
交付金事業の契約の概要								
契約の目的		契約の方法		契約の相手方			契約金額	
補助金交付		補助		吉田地区振興協議会（雲南市）			359,433	
補助金交付		補助		田井地区振興協議会（雲南市）			880,000	
補助金交付		補助		民谷地区振興協議会（雲南市）			509,080	
				計			1,748,513	
交付金事業の担当課室	雲南市吉田総合センター自治振興課							
交付金事業の評価課室	雲南市吉田総合センター自治振興課							

別紙

I．事業評価総括表（令和４年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金 （一宮交流センター備品整備）事業	雲南市	1, 151, 920	1, 151, 920	総事業費 1, 151, 920

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和4年度）

番号	措置名	交付金事業の名称				
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	自治会施設等整備補助金（一宮交流センター備品整備）事業				
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		雲南市				
交付金事業実施場所	雲南市三刀屋町給下					
交付金事業の概要	雲南市内には、地域自主組織が概ね小学校区単位で30組織が設立されています。この地域自主組織とは、まちづくり活動の拠点として地域の課題解決に向けた活動団体であり、各地域で持続可能なまちづくり活動の推進が積極的に行われている組織です。 当該三刀屋町一宮地区の活動拠点施設である一宮交流センターにおいては、一宮自主連合会代議員総会や、新年賀会、敬老会など100人超規模の会が開催されておりますが、現在会議関連備品のうち会議用テーブルが老朽化による在庫の減少などにより出席者に対しテーブルが不足しており、テーブルを使用できず一部活動が制限されている状況です。 備品を整備することで、地域活動の充実や交流促進事業の強化を図り、地域の諸課題解決に向けた取り組みを強化できます。 このような地域自主組織での主体的な備品の整備に対して、雲南市水力発電施設周辺整備事業補助金交付要綱の定めるところにより、補助金を交付します。 一宮交流センターに整備する備品の具体的な内容は以下のとおりです。 ・幕板棚付き会議テーブル 17台					
交付金事業に係る都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	【第2次雲南市総合計画（後期基本計画 2015-2024）】 政策Ⅰ みんなで築くまち 施策01 市民が主役のまちづくりの推進 まちづくり活動への参加推進・まちづくり活動の拠点整備 施策目標：過去1年間に地域活動に参加した市民の割合 <table><tr><td>現状</td><td>59.0%（令和3年度実績）</td></tr><tr><td>目標</td><td>75.0%（令和4年度）</td></tr></table>		現状	59.0%（令和3年度実績）	目標	75.0%（令和4年度）
現状	59.0%（令和3年度実績）					
目標	75.0%（令和4年度）					

事業開始年度	令和4年度		事業終了（予定）年度			令和4年度	
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和5年度		
	過去1年間に 地域活動に参 加した市民の 割合 75.0%	市民アンケート において 「過去1年間 に地域活動に 参加した」に ついての項目 に、したと答 えた数／市民 アンケート回 答者数	成果実績	%			
			目標値	%	75.0		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施翌年度早期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和4年度		
	一宮地区地域自主組織への備 品整備数		活動実績	点	17		
			活動見込	点	17		
			達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等		令和4年度					備 考
総事業費		1,151,920					
交付金充当額		1,151,920					
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		1,151,920					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
補助金交付		補助		一宮自主連合会（雲南市）		1,151,920	
		計				1,151,920	
交付金事業の担当課室		雲南市三刀屋総合センター自治振興課					
交付金事業の評価課室		雲南市三刀屋総合センター自治振興課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	大仁農道舗装改修工事	奥出雲町	4,469,000	4,469,000	総事業費 4,744,300

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

II. 事業評価個表（令和4年度）

番号	措置名	交付金事業の名称	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	大仁農道舗装改修工事	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		奥出雲町	
交付金事業実施場所	奥出雲町亀嵩		
交付金事業の概要	昭和47年より島根県において着手、昭和61年に完成、平成3年に本町に譲与された大仁農道は、仁多地域と横田地域を縦断する道路であり、また県庁所在地である松江市への最短ルートでもあるため、生活道路としての利用も多い道路ですが、経年による舗装の劣化が著しい箇所があり、通行車両への影響が発生しているなど、交通に支障をきたしている状況です。 このため、舗装劣化が著しい箇所の舗装整備が必要なため、本交付金を活用し舗装整備を行います。 （令和4年度施工内容） 施工延長 L=110m、 舗装打換え工 A=706m²		
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第2次奥出雲町総合計画（2021年度-2030年度） 第3章 基本計画 基本目標7-2 生活基盤・交通基盤の整備 安全で快適な暮らしを支える上下水道・道路が適切に整備・維持管理されるとともに、地域特性に応じた公共交通などの移動手段が確保されたまち 奥出雲町国土強靱化地域計画（令和2年6月） 6. 起きてはならない最悪の事態ごとの推進方針 （1）大規模自然災害が発生したときでも人命の保護が最大限図られる 1）建物・交通施設等の複合的・大規模倒壊や住宅密集地における火災による死傷者の発生 ③交通施設の安全化、防災空間の確保、道路寸断への対応 災害時の避難路及び緊急輸送道路へアクセスする道として、町道、農道、集落道、林道の整備を着実に進める。		
事業開始年度	令和4年度	事業終了（予定）年度	令和4年度
事業期間の設定理由			

交付金事業の成果目標及び 成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和 4 年度		
	大仁農道における、安全で 快適に通行で きる実延長と 大仁農道総延 長の割合 81.3%	(路面にひび 割れ等がなく 安全で快適に 通行できる実 延長) ÷ (総 延長) × 100	成果実績	%	81.3		
			目標値	%	81.3		
			達成度	%	100.0		
	評価年度の設定理由						
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度末期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び 活動実績	活動指標			単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
	舗装改修の延長		活動実績	m	200	180	110
			活動見込	m	200	180	110
			達成度	%	100.0	100.0	100.0
交付金事業の総事業費等	令和 2 年	令和 3 年		令和 4 年		備 考	
総事業費	7,323,800	7,480,000		4,744,300			
交付金充当額	4,435,000	4,473,000		4,469,000			
うち文部科学省分							
うち経済産業省分	4,435,000	4,473,000		4,469,000			

交付金事業の契約の概要			
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
道路舗装改修工事	指名競争入札	雲南建設株式会社（雲南市）	4,744,300
計			4,744,300
交付金事業の担当課室	奥出雲町町民課		
交付金事業の評価課室	奥出雲町町民課		

別紙

I. 事業評価総括表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	町道頓原長谷線舗装修繕工 事	飯南町	4,455,000	4,455,000	総事業費 4,506,700

（備考）事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ. 事業評価個表（令和４年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	町道頓原長谷線舗装修繕工事
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		飯南町
交付金事業実施場所		飯南町長谷
交付金事業の概要	町道頓原長谷線は、来島ダム施設の上流部に位置し、周辺集落の人々にとって集落と集落を繋いだり、通勤、バスでの通学、役場、病院、買い物をするためなどに使ったりする大切な生活道になっております。しかし、幅員3.6～20.5mの町道で、町道認定から30年以上経過しておりますが、長年、舗装修繕歴はありません。そのため、アスファルト舗装の老朽化が著しく、クラック及び表層の局部的剥離が恒常的に繰り返しているため、走行中の車の振動や舗装の表層に注意が向き通行に支障をきたしております。その上、外側線也没有ありません。 そのため、特に高齢ドライバーには運転しづらい路線状況となっています。 上記のように、長期的に修繕が必要な状況にあるため、平成30年度～令和5年度まで修繕を予定しており、住民の要望を聞きながら、必要な箇所を修繕しています。 令和5年度までに舗装改善を目指し、今後も継続して地域住民のための生活が豊かになるように努めていきます。周知の方法は看板設置や広報誌での掲載を考えております。 令和4年度実施内容： 修繕必要箇所2,000mのうち、250m部分の舗装工（オーバーレイ工）A=1,339.6㎡ 区画線工（実線L=500.0m）	

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	交付金事業に関する主要政策 第2次飯南町総合振興計画後期基本計画（令和2年度～令和6年度） 基本施策5－2：生活基盤の整備 施策82：生活道の整備と安全確保 道路橋梁長寿命化修繕計画などに基づき、生活の基盤となる道路網を計画的に整備し、危険個所の点検を行い、改良に取り組みます。						
事業開始年度	令和4年度		事業終了（予定）年度		令和4年度		
事業期間の設定理由							
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度		
	町道頓原長谷線における安全に通行できる道路の割合 97%	町道頓原長谷線における舗装修繕により安全に通行できる延長/町道頓原長谷線総延長の割合（%）	成果実績	%	97.0		
			目標値	%	97.0		
			達成度	%	100.0		
	評価年度の設定理由						
	毎年度PDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業実施年度末期に評価を実施。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	—						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	町道頓原長谷線の舗装修繕延長		活動実績	m	412.0	315.0	250.0
			活動見込	m	412.0	315.0	250.0
			達成度	%	100.0	100.0	100.0

交付金事業の総事業費等	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	備 考
総事業費	6, 276, 600	4, 730, 000	4, 506, 700	令和 4 年度までの総事業費 28, 285, 380円
交付金充当額	6, 256, 000	4, 456, 000	4, 455, 000	
うち文部科学省分				
うち経済産業省分	6, 256, 000	4, 456, 000	4, 455, 000	
交付金事業の契約の概要				
契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額	
町道頓原長谷線舗装修繕工事	指名競争入札	(株) 藤原建設 (飯南町)	4, 506, 700	
計				
交付金事業の担当課室	飯南町役場 建設課			
交付金事業の評価課室	飯南町役場 建設課			

別紙

I．事業評価総括表（令和４年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要 した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は維持運 営等措置	ゴールデンユートピアおお ち維持運営事業	美郷町	10,686,000	10,686,000	総事業費 13,333,333

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和４年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	ゴールデンユートピアおおち維持運営事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		美郷町
交付金事業実施場所		美郷町粕渕
交付金事業の概要	ゴールデンユートピアおおちは、平成元年に旧邑智町の第3次長期総合計画の先導開発事業として位置付けられ、平成2年に旧自治省のリーディングプロジェクト事業（長寿社会対策）の採択を受けて平成2年度～平成6年度にかけて健康センター、スポーツセンター、交流センター及び高齢者センター等から構成される町民の健康づくりや健康増進、軽スポーツ、創作活動の場を提供する施設として、総事業費24億円をかけて建設されました。当時の総合計画にもあるようにゴールデンユートピアの建設に当たっては「町民誰もが長寿を喜び合い健康が楽しい暮らしづくり」「町民誰もが資源と技術と知恵を生かした生きがい創造に向けた産業おこし」「町民誰もが世代や地域を超えてふれあい学び合う交流による活力ある町づくり」という3つの基本目標を掲げています。とりわけ、長寿・健康という概念においては、オープン当初から療育音楽健康づくり教室や水中運動教室といった高齢者に特化し、施設利用を生かした今で言う介護予防教室を先駆的に実施しており、平成12年の介護保険制度導入後も引き続き町の介護予防事業として定着しております。平成16年10月に旧邑智町と旧大和村とが合併し美郷町になってからも町の介護予防事業、健康づくり事業の拠点として位置づけられ、旧大和村の方からの参加者も増えていく中で、健康指導や運動指導に携わる職員も資格取得や研修を行いスキルアップを図ってきました。このゴールデンユートピアおおちも平成18年度から指定管理者制度による指定管理を受けて一般財団法人美郷町開発公社が管理運営をしており、令和3年度からは新たに石見ワイナリー株式会社が管理運営をしています。開館から20年以上が経過し、施設の老朽化等があり、施設維持にも年々経費が増える中でも、町民にとっては最も関心が高い健康維持・増進を図るためにはなくてはならない施設であり、施設として安全で安定的な運営が求められています。 本交付金は町が所有する上記施設の管理運営について、石見ワイナリー株式会社と指定管理の基本協定書（令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間）に基づき、その管理委託料年額40,000千円の内、令和4年10月から令和5年1月分の管理委託料13,333,333円に本交付金を充当します。 このゴールデンユートピアおおち維持運営事業においては、町の広報誌等で電源立地地域対策交付金が使われていることを周知するとともに、町民の健康志向と生きがいに対する健康増進の拠点施設として今後も利用者の維持・拡大を図ります。	

交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	①交付金事業の成果目標 交付金事業に関係する主要政策・施策： 美郷町第2次長期総合計画 後期基本計画（令和3年度～令和7年度） 基本計画Ⅳ 健康 福祉 生涯を通じて健康で安心できるまち Ⅳ-1 保健・医療の充実 ・「一人ひとりがいきいき、みんなが笑顔でつながる健康な町」を基本理念として、疾病や障がい・加齢などに左右されず健やかで自立した幸せな生活ができる期間、いわゆる「健康寿命」のさらなる延伸や生活の質の向上をめざし、具体的な健康行動をおこす町民が増えることを目指します。				
事業開始年度	令和4年度		事業終了（予定）年度		令和4年度
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度
	各種教室登録者に対して実施するアンケート調査において、自身の介護予防や健康づくりに役立っていると感じる人の割合 90%	教室の内容が満足と思った参加者／各教室の参加者	成果実績	%	91.7
			目標値	%	90.0
			達成度	%	101.9
	評価年度の設定理由				
	毎年度のPDCAサイクルによる事業改善を図るため、事業終了後早期に評価を実施するため。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	人員不足により令和4年度の活動見込は令和3年度並みとしながらも、参加者の拡大等による活動実績の向上を目指しました。新規参加者の増員を積極的に行ったことにより会員数および参加者数は増加傾向になりましたが、老朽化による改修工事が必要となり12月および1月はプール施設が使用できず、水中運動教室が開催中止となりました。アンケート結果から、教室内容について高評価を得られているので、今後も施設及び教室利用者増加の促進を行い、活動実績の向上を目指していきます。				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標			単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	介護予防教室（水中運動教室）の開催回数 1ヶ月16日（週4日開催×4週）×4ヶ月（交付金事業期間）		活動実績	回	60	11	-
			活動見込	回	64	64	-
			達成度	%	93.8	17.2	-
	介護予防教室（水中運動教室）の開催回数 1ヶ月4日（週1日開催×4週）×4ヶ月（交付金事業期間）		活動実績	回	-	-	12
			活動見込	回	-	-	16
			達成度	%	-	-	75.0
交付金事業の総事業費等		令和2年度	令和3年度		令和4年度	備 考	
総事業費		13,333,333	13,333,333		13,333,333		
交付金充当額		10,223,000	10,626,000		10,686,000		
うち文部科学省分		0	0		0		
うち経済産業省分		10,223,000	10,626,000		10,686,000		
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
ゴールデンユートピアおおちの管理運営		随意契約（特命）		石見ワイナリー株式会社（大田市）		13,333,333（4カ月分）	
		計				13,333,333	
交付金事業の担当課室		美郷町企画推進課					
交付金事業の評価課室		美郷町企画推進課					

別紙

I．事業評価総括表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備考
1	地域活性化措置	ICT/IoTの活用及びビジネス マナー向上へ向けた人材育 成事業	津和野町	4,558,000	4,558,000	総事業費 4,620,000

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表（令和4年度）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	地域活性化措置	ICT/IoTの活用及びビジネスマナー向上へ向けた人材育成事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		津和野町
交付金事業実施場所	津和野町池村 ほか（津和野町全域）	
交付金事業の概要	町内において、ICT/IoTの活用へ向けた学習環境及びビジネスマナー向上へ向けた学習環境を創出します。現在、本町において、I T分野に関する学習環境の提供ができておらず、I T系企業誘致の際に必要な人材確保が難しい状況にあります。I T分野での就労を希望する生産年齢人口の多くは都市部で就労をせざるを得ず、町の人口減少の一因となっています。 この度の学習環境創出により、多くの方がIT関連について学ぶことで、町内でのIT関連の活用が進むことにより、IT系企業の誘致の際の人材確保に繋がり、更なるI T系企業誘致促進を図ることができ、人口減少の一因でもある就労の場の不足の解消に繋がります。併せて、町内企業において、I Tを活用する体制が整備されることにより、業務の効率化が図られ、町内住民への学習環境提供により、I Tを活用した「地域の活性化」を図ることができます。 加えて、ビジネスマナーに関する学習環境創出により、既存企業等の人材育成に資するのみならず、社会一般常識、接遇等社会人コミュニケーション能力に係る学習を受けた人材がいることにより、企業誘致促進を図ることができ、就労の場の確保に繋がります。 ICT/IoTの活用及びビジネスマナー向上の両輪での学習環境創出による人材育成により、地域の方の能力向上、既存企業の業務効率化、IT関連知識・ビジネスマナーの知識を持つ人材がいることによる企業誘致促進が図られます。 なお、プログラミング体験教室は、昨年度実施したIT等学習環境調査において、授業外での時間を活用したプログラミング体験が必要との結果もあり、プログラミングに触れる時間を提供することで、教育を受ける世代からICT/IoTを意識した人材育成を図ることができます。 具体的な事業内容は以下のとおりです。 ① I T人材の育成及びビジネスマナー向上に関する講座の実施 講座39回実施 Word基礎講座、リモート会議講座、接遇等社会人コミュニケーション能力開発等を学ぶビジネスマナー講座等、企業において、必要なスキルを持つ人材育成講座 ②町内事業者等のIT化促進に向けた相談対応を希望企業等に出向き実施するコンシェルジュ（出張講座） 講座36回実施 ③町内を中心とした企業・個人のICT/IoTへの理解向上、認知拡大に向けたセミナーの開催 1回開催 ④プログラミング体験教室開催 2回開催 町内の児童・生徒を主ターゲットとし、プログラミングを身近に体験できる教室を開催	
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第2次津和野町総合振興計画基本構想・後期基本計画（令和3年12月） 第4部後期基本計画 基本目標3 働くことを喜びとし豊かな産業を育てるまちづくり 第3章企業誘致の推進 主要施策：2 企業進出のための環境整備 ・企業が進出しやすいようにハード整備の支援や人財確保、人財育成等の環境整備を進めます。 ・進出企業の事業活動を支援するため継続的なフォローアップを行います。 主要指標：新規事業所の誘致数 4社（令和2年度）→6社（令和8年度） 主要施策：3 I C Tへの理解向上 ・地域内のI C Tに対する理解と学習を深め、I C Tの利活用を推進するため、学習の場創出に取り組みます。 主要指標：ICT等学習の場に満足している参加者の割合 調査なし（令和2年度）→80％（令和8年度） 第6章「雇用対策」 主要施策：1 雇用・就業の支援 ・企業が求める条件に合う人財の育成やスキルアップのための研修等の情報発信に努めます。 ・津和野町無料職業紹介所からの情報発信に加え、ハローワークや島根県（ふるさと島根定住財団等）との連携により、求人情報を求職者やUIターン希望者へ伝えるための情報発信に努めます。 主要指標：津和野町無料職業紹介所求人情報の年度内登録数 37件（令和2年度）→50件（令和8年度）	

事業開始年度	令和４年度		事業終了（予定）年度		令和４年度
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和４年度
	各講座・コンシェルジュ・セミナーに満足している参加者等の割合 80.0%	各講座等終了後に行う参加者等アンケートにおいて、総合的な満足度の項目に「満足」又は「やや満足」と答えた参加者等数の合計÷アンケート回答者数	成果実績	%	97.7
			目標値	%	80.0
			達成度	%	122.1
	小・中・高等学校の生徒・児童に対し、プログラミングを身近に体験できる授業を実施し、各学校の効果的なプログラミング授業構築の支援につなげます。		成果実績		
			目標値		
			達成度		
	評価年度の設定理由				
	事業完了早期に評価を実施するため。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	令和3年度	令和4年度	年度
	講座、コンシェルジュ及びセミナー 実施回数		活動実績	回	76	78	
			活動見込	回	76	77	
			達成度	%	100	101	
交付金事業の総事業費等		令和3年度	令和4年度		年度	備考	
総事業費		4,949,274	4,620,000				
交付金充当額		4,562,000	4,558,000				
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		4,562,000	4,558,000				
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
講座・セミナー、プログラミング教室		随意契約（公募型プロポーザル方式）		㈱Nex-E（津和野町）		4,620,000	
		計					4,620,000
交付金事業の担当課室		津和野町つわの暮らし推進課					
交付金事業の評価課室		津和野町つわの暮らし推進課					

別紙

I．事業評価総括表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	中学校特別教室等空調機整備事業	吉賀町	3,080,000	3,080,000	総事業費 3,080,000

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ. 事業評価個表(令和4年度)

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	中学校特別教室等空調機整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉賀町		
交付金事業実施場所	柿木中学校(吉賀町柿木)、吉賀中学校(吉賀町七日市)、六日市中学校(吉賀町六日市)			
交付金事業の概要	各学校における授業環境については、とりわけ温度調節が重要です。 特に夏季の学校においては、夏季休業前後にも猛暑日を記録する日が年々増加し、適切な授業環境の確保や熱中症対策に苦慮していることから空調機整備が急務です。 本事業では、整備済みである普通教室に加え、特別教室等に空調機を整備することにより、全ての教室における生徒の学習環境の改善を図ります。 本年度は、整備に先立ち、実施設計を行います。具体的には現地調査の上、令和5年度以降の工事発注に必要な工事費の積算資料や図面を作成します。 学校はその用途から大きな電力を消費します。本件整備により追加となる需給電力によっては、変圧器を含む受変電設備等を敷地内に設置する必要性が生じる可能性があります。このため、追加機器を含めた全体の電力量を計算の上、既設電気設備の改修や受変電設備設置の検討を併せて行います。 ・実施設計一式(対象3校) ①柿木中学校 :多目的スペース(ホール)、理科室、音楽室、美術室、被服室、技術室、調理室 ②吉賀中学校 :理科室、美術室、家庭科室、技術室 ③六日市中学校 :被服室、調理室、美術室、技術室			
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	吉賀町教育振興計画(令和4年3月) 基本理念「ふるさとでの学びや体験をもとにした明日の吉賀町を支える人材の育成」 4.学習環境の構築と支援体制の整備 1)学びに適した学習環境の構築 (2)学校配置及び学校施設整備 《具体策》○補助金を活用した教材、遊具等の整備			
事業開始年度	令和4年度		事業終了(予定)年度	令和8年度
事業期間の設定理由	令和4年度に実施設計を行い、次年度以降対象3校に順次計画的に整備を行い、令和8年度の供用開始を見込むため。			

交付金事業の成果目標 及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和8年度		
	未整備教室数に対する整備済教室数の割合を令和4年度の0%から100%に引き上げる	整備済教室数/当初未整備教室数(全体数)	成果実績	%			
			目標値	%	100.0		
			達成度	%			
	評価年度の設定理由						
	当該事業が完了し、供用が開始されるのが、令和8年度であるため。						
	交付金事業の定性的な成果及び評価等						
	評価に係る第三者機関等の活用の有無						
	無						
交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	実施設計数		活動実績	式	1		
			活動見込	式	1		
			達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等		令和4年度	令和5年度		令和6年度	備考	
総事業費		3,080,000				総事業費43,000,000円(予定)	
交付金充当額		3,080,000					
うち文部科学省分		0					
うち経済産業省分		3,080,000					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方			契約金額
実施設計		指名競争入札		株式会社アートスタッフ建築事務所(益田市)			3,080,000
		計					3,080,000
交付金事業の担当課室		吉賀町教育委員会					
交付金事業の評価課室		吉賀町教育委員会					

別紙

I．事業評価総括表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に 要した経費	交付金充当額	備 考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	授業用電子黒板等整備事業	吉賀町	1,320,000	1,320,000	総事業費 1,853,500

（備考）事業が二つ以上の場合は必要に応じ欄を設けること。

Ⅱ．事業評価個表(令和4年度)

番号	措置名	交付金事業の名称			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	授業用電子黒板等整備事業			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		吉賀町			
交付金事業実施場所	吉賀町立七日市小学校(吉賀町七日市)、吉賀町立六日市小学校(吉賀町六日市)				
交付金事業の概要	平成26年度、平成27年度にかけて、町内の小中学校に電子黒板等のICT機器を整備しています。現在、整備から7, 8年経過して画面タッチ感度不良、画面内縦線、HDMI差込口が不安定等の不具合が発生しているため、順次更新を行う必要があります。今年度においては、新たに5台の電子黒板を購入して、電子黒板に係る状況ヒアリングを基に、不具合等が多く見られる学校に整備をします。なお、既存の電子黒板について、不具合等の程度によっては未整備教室に再設置します。これにより、吉賀町の児童生徒に対して、より良い教育環境が提供出来るとともに、円滑な授業の実施を推進します。				
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	吉賀町教育振興計画(令和4年3月) 基本理念「ふるさとでの学びや体験をもとにした明日の吉賀町を支える人材の育成」 4.学習環境の構築と支援体制の整備 1)学びに適した学習環境の構築 (2)学校配置及び学校施設整備 《具体策》○補助金を活用した教材、遊具等の整備				
事業開始年度	令和4年度		事業終了(予定)年度		令和4年度
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		単位	評価年度 令和4年度
	更新が必要な電子黒板の割合を100%から86.1%に引き下げる	未更新の電子黒板数÷町内電子黒板の総数	成果実績	%	86.1
			目標値	%	86.1
			達成度	%	100
	評価年度の設定理由				
	事業完了後、早期に実施。				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
	評価に係る第三者機関等の活用の有無				
	無				

交付金事業の活動指標 及び活動実績	活動指標			単位	令和4年度	年度	年度
	電子黒板等の整備台数		活動実績	台	5		
			活動見込	台	5		
			達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等		令和4年度	年度		年度	備考	
総事業費		1,853,500					
交付金充当額		1,320,000					
うち文部科学省分		0					
うち経済産業省分		1,320,000					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
授業用電子黒板等の購入		随意契約(不落)		株式会社 タイピック(益田市)		1,853,500	
		計					1,853,500
交付金事業の担当課室		吉賀町教育委員会					
交付金事業の評価課室		吉賀町教育委員会					